

コロナ明けでマスク業者の心配 そこで一首

あけぬれば いらぬものとは 知りながら なほうらめしき マスクの在庫
52 あけぬれば くるるものとは 知りながら なほうらめしき 朝ぼらけかな 藤原道信朝臣



そういっても急に消えることはないので心配無用 そこで一首

ノーマスク 絶えて久しく なりぬれど 周囲流れて なほマスク顔
55 たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なほきこえけれ 藤原公任

酒もおおっぴらに飲める そこで一首

久しぶり 光輝く 居酒屋で しず心なく 酒を飲むらむ
33 久方の 光のどけり 春の日に しず心なく 花のちるらむ 紀友則



羽目を外すところなるところを一首

キャバクラへ 毎夜かよひし やめられぬ キャバ嬢の姿 しばしとどめむ
12 天つ風 雲のかよひ路 吹きとぢよ をとめの姿 しばしとどめむ 僧正遍照



もう少し健全にGW旅行も大変 そこで二首

連休時 行くも帰るも 渋滞の 知るも知らぬも 高速の道
10 これやこの 行くも帰るも わかれては 知るも知らぬも 逢坂のせき 蝉丸



混雑で 舞浜までも 遠ければ まだふみもせず ディズニーシー
60 大江山 いくのの道も 遠ければ まだふみもみず 天の橋立 小式部内侍

でも行けるだけマシ 行けない人もいる そこで二首

ギリギリで 泣くやホテルが 取れなくて コロナ明けでも 家でかも寝ん
91 きりぎりす なくや霜やの さ菫に 衣かたしき ひとりかも寝ん 後京極摂政太政大臣

かねなくば デートせぬこそ 悲しけれ わが身ひとりで 自宅で蟄居
23 月みれば 千々にもこそ 悲しけれ わが身ひとつの 秋にあらねど 大江千里

それでもなんとか旅行する そこで一首

見渡せば 風呂もトイレも なかりけり 今日の泊まりの安宿の部屋
新古今 見渡せば 花も紅葉も なかりけり 浦の苫屋の 秋の夕暮 藤原定家

本当に楽観視していいのかなの慎重派もいる そこで一首

忘らるる コロナの脅威 残れしは 人の命の をしくもあるかな
38 忘らるる 身をば思はず ちかひてし 人の命の をしくもあるかな 右近